



九州大学

日本医師会 大学医学部女性医師支援担当者連絡

より良い男女共同参画を目指して
九州大学の取り組み

九州大学大学院医学研究院 保健学部門 榎木晶子

平成25年9月27日

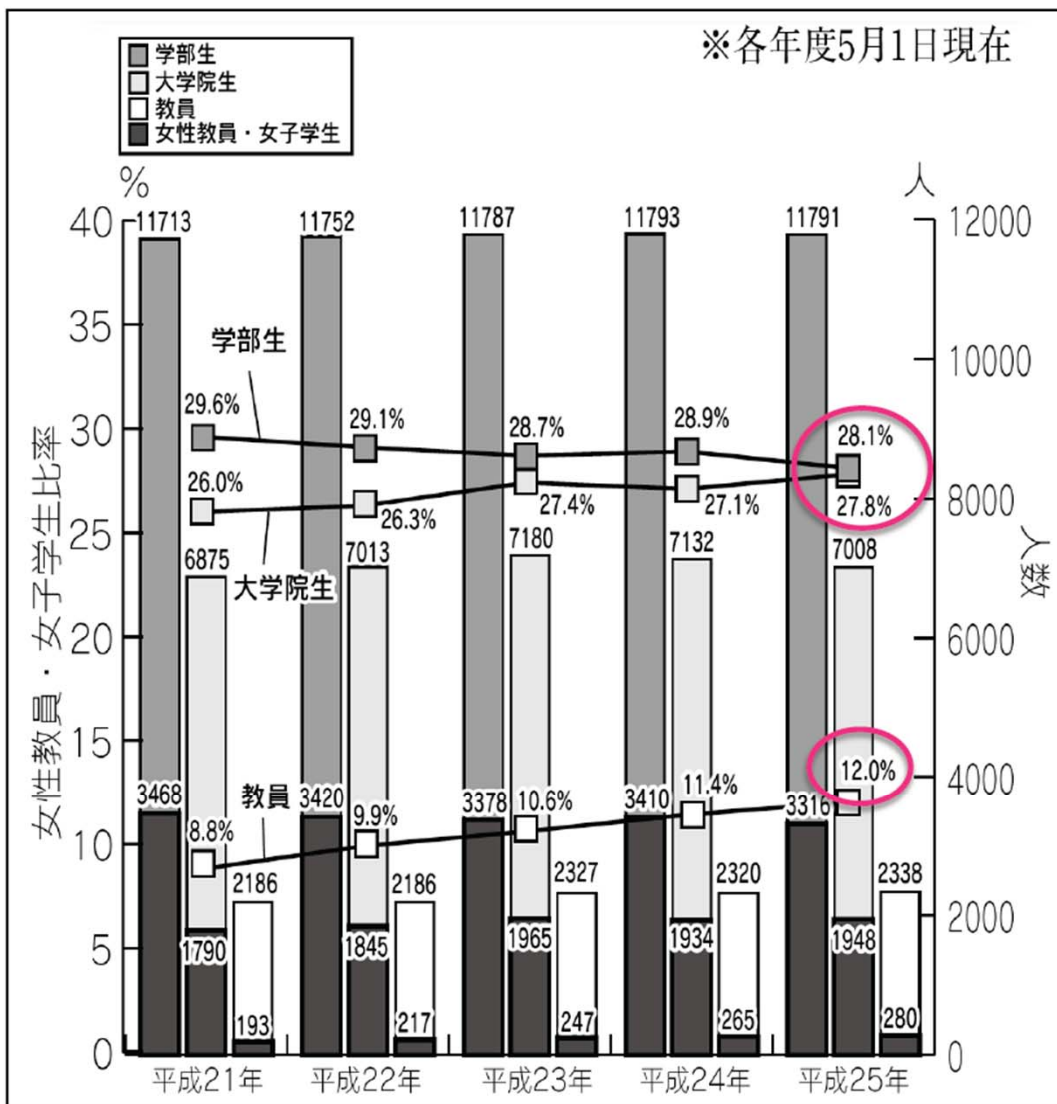


教員・学生に占める女性の割合

- ・ **教員数** 2,338名
 - ・ 男性 2,058名
 - ・ 女性 280名 **12.0%**
- ・ **大学院生総数** 7,008名
 - ・ 男子 5,060名
 - ・ 女子 1,948名 **27.8%**
- ・ **学部生総数** 11,791名
 - ・ 男子 8,475名
 - ・ 女子 3,316名 **28.1%**



(平成25年5月1日現在)



九州大学の男女共同参画推進体制

男女共同参画推進委員会/委員長:総長

平成21年4月 体制強化

男女共同参画推進担当理事

男女共同参画推進室

室長:総長特別補佐

副室長

* 室員は各キャンパス教員
及び関係事務部課長:35人

広報部門

総務部

就労・修学等部門

総務部

学生教育等部門

学務部

女性研究者支援部門

学術研究推進部

女性研究者 キャリア開発 センター

・センター長:
担当理事
・副センター長:
ジェンダー教育研究

連携
・
協力

きらめきプロジェクトキャリア支援センター

九州大学病院

環境整備 学内保育施設の設置 (H21年)



たんぽぽ保育室 (箱崎地区)



定員10名 2歳未満

ひまわり保育園 (病院地区)



定員60名



たけのこ保育園 (伊都地区)



定員60名

各施設とも一時保育, 延長保育有り, 病院地区は終夜保育と病後児保育
24年度から給食も開始

環境整備 研究補助

女性研究者一般の研究助成制度

学内研究助成制度(平成9年～)

教育研究プログラム・

研究拠点形成プロジェクト(P&P)に

「女性枠」設置(平成18年～)

→大型研究費の取得にステップアップ

若手研究者支援

国際学会参加に対する支援など

出産育児期等の研究助成制度

研究補助者措置制度

通称「Hand in Hand」(平成19年～)

- ・小学6年までの子を持つ
- ・要介護者がいる
- ・単身赴任
- ・公的外部委員会等で多忙

春期秋期毎に各期30人程度支援

このような女性研究者に研究補助者

→自身の研究を推進できる

環境整備 若手人材への支援

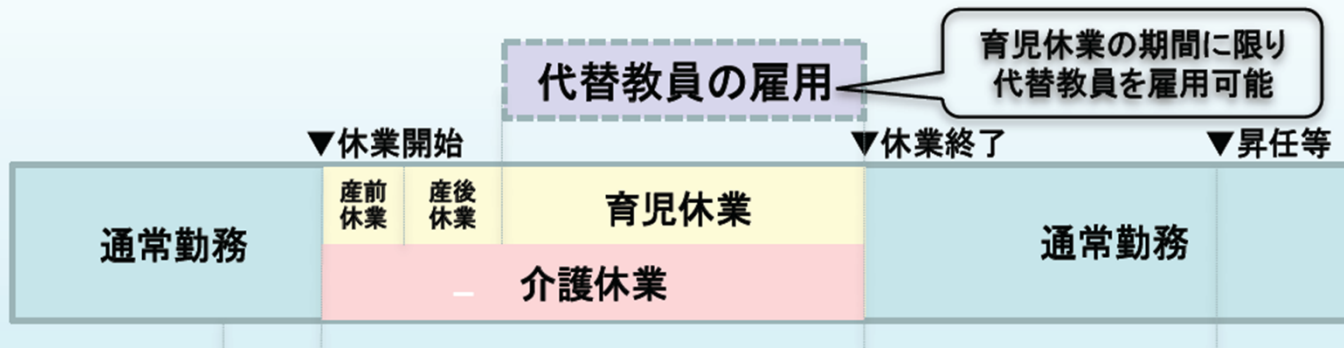
教員が出産・育児・介護に係る長期休業を取得する場合に部局で新たに教員を中長期的に雇用できる支援制度を導入

通常の支援

産前・産後休業
取得者

育児休業
取得者

介護休業
取得者



新たな支援

新たに
雇用された教員

▼休業開始3ヶ月前

新たな教員の雇用(3-5年間)

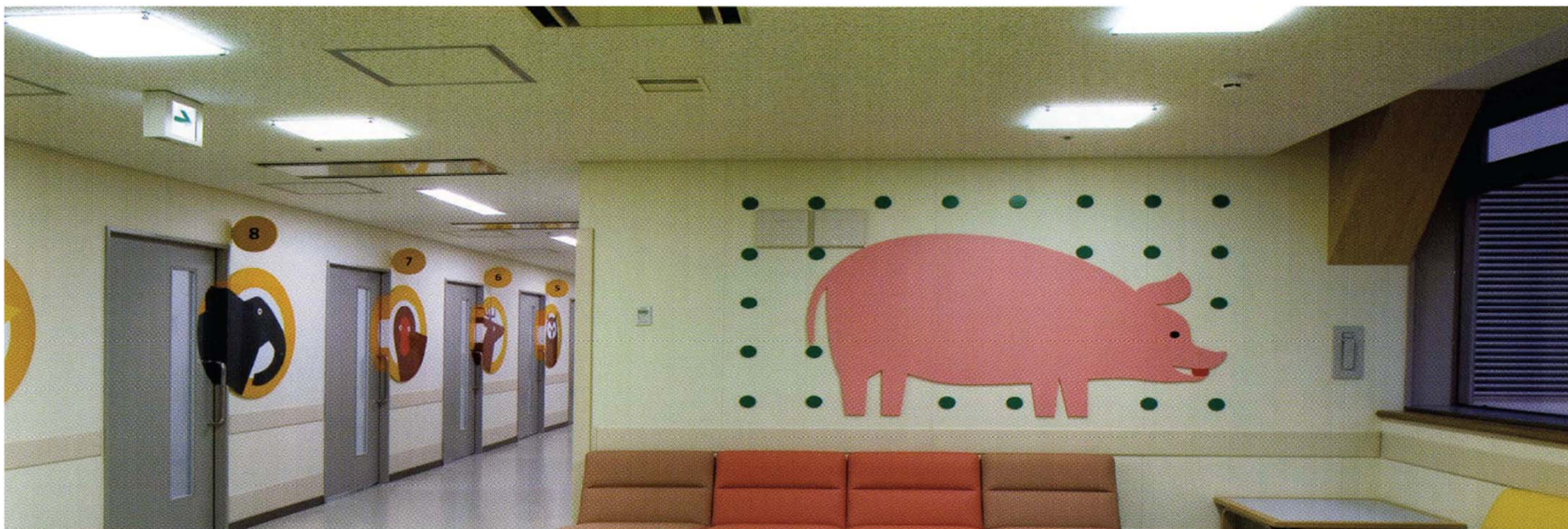
全学の人件費において措置

- ・休業を取得しやすい就労環境を整備
- ・部局の教育研究業務への影響の軽減

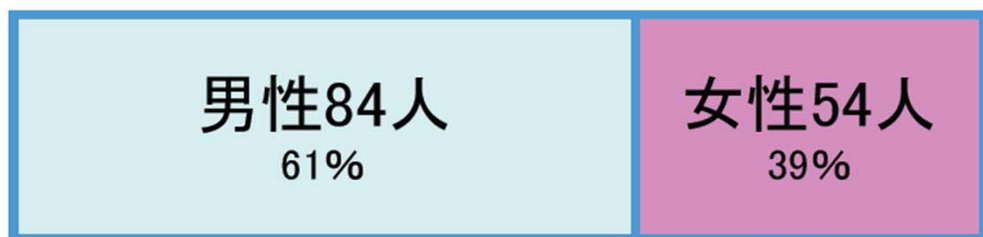
- ・優秀な人材の雇用促進
- ・優秀な人材の定着



九州大学病院の梅ちゃん先生は？



非常勤(研修医)



138人

非常勤(医員)



362人

常勤(助教以上)



201人 [教授53(1), 准教授48(3), 講師16(4), 助教84(18)]

全体の女性医師200人
29% (200/701人)
常勤の女性医師26人
13% (26/201人)

病床数 1,275床
教員・医師 約900名
看護系職員 約1,180名
その他の職員 約500名



平成25年5月現在

女性医療人きらめきプロジェクト (H19-21年、文科省、外部資金)

女性医療人ステップアップ外来医師 18人 (H19-21)
看護師4人

フルタイム職への復帰:
公立病院での小児科部長 1人
9-5時勤務の乳腺外科チーフ 1人
大学病院歯学部 医員 2人
看護学校教員 1人

専門医取得: 歯科医師 2人
博士号取得: 皮膚科医 1人

外来診療現場の活性化・男性医師の業務軽減
病院収入の増加

きらめきプロジェクトキャリア支援センター 設立(自己資金, H22年度~)

「九州大学病院 きらめきプロジェクト」を展開

目的

ライフステージにより休職や離職を余儀なくされる
女性医師のキャリアの継続、休職後の復帰支援

介護・自身の病気のために離職を余儀なくされる
男性も含めた医師全体のキャリアの継続、休職後の
復帰支援

トップの意識改革

女性医師

- ・就業継続支援→ステップアップ外来
短時間勤務、フレックス
- ・復職支援→復職のための研修
e-learning教材の利用
- ・育児支援→院内保育園の開設
病後児保育、24時間保育
- ・ネットワークの構築

全医療人

- ・医師の働き方に対する意識変革
 - ・女性医師支援に対する理解
- きらめき講演会、研修会などによる意識の啓発

学生

- ・国税によって教育を受けていることの認識と責任：就業継続の責務
- ・女性医師としてのロールモデル、将来設計→学生講演会・交流会
- ・ジェンダーや性差に対する理解→ジェンダー学や性差医学の講義

就業継続支援

やめない支援・働ける支援・戻れる支援

出産育児・介護・自身の病気のために離職を余儀なくされる**男性医療人も含めた**医師や歯科医師のキャリアの継続、休職後の復帰支援

医局も歓迎、本人も後ろめたくない

- ・医局人事と外枠の就業、病院予算による雇用
- ・短時間勤務による外来診療や検査業務、研究の継続

ステップアップ外来医師

(短時間勤務、非常勤医師)

	医科	歯科	計
19年度:	2	0	2
20年度:	8	8	16
21年度:	8	7	15
22年度:	8	4	12
23年度:	10	5	15
24年度:	13	7	20
25年度:	11	4	15
延べ人数	60	35	95

医科の所属

皮膚科	6
眼科	4
小児科, 心療内科, 内科	3
耳鼻科, 乳腺外科, 麻酔科	2
循環器内科	1
神経内科	1
呼吸器科,	1
がんセンター	1
計	29

きらめきOG18人の現在

フルタイム職へ復帰:	10
九州大学病院	2
公立病院	3
私立病院	1
個人の医院	3
非常勤勤務:	4
海外:	2
産休育休中:	2
専門医などの取得	9
(きらめき後の取得)	



育児支援

ひまわり保育園 (病院地区)



学習プログラム



- リフレッシュプログラム
- 復職支援プログラム
- 自宅学習プログラム
- 専門職プログラム
- 離職しないプログラム
- 初期研修プログラム
- ジェンダー教育・性差医学

啓発講演会



九州大学病院きらめきプロジェクト
第4回講演会

★ 日時:平成25年6月28日(金)18:00~19:30
★ 会場:九州大学病院 コラボ・ステーション2F視聴覚室

「ワークライフバランス~アメリカ編~」

【プログラム】
18:00 開会式
18:10 講演
18:15 質疑応答
18:20 閉会式

【講演者】
Dr. James M. Hays (米国) 米国で働く医師のワークライフバランスについて

学生講演会・交流会



九州大学病院きらめきプロジェクト
第3回学生交流会

テーマ 『今、きらめいてますか?』

日時:平成24年11月28日(木)17:30~20:00
会場:九州大学病院総合研修センター1階100号室・サイエンスカフェ

プログラム

- 17:30 開会
- 17:40 講演 『「君のかけがえのない時間」を大切にしよう!』 (米国) 米国で働く医師のワークライフバランスについて
- 18:15 パネルディスカッション 『結婚・出産、人生は再出発!』
- 18:55 質疑応答
- 19:00 サイエンスカフェにて交流懇話会 (18:55開始)
- 20:00 閉会

情報発信

きらめき通信(隔月発行)

第2回 学生交流会

「どうする?結婚、そしてその後」

一夫一婦の絆と仕事

日時:平成24年11月25日(日)17:30~

会場:九州大学総合研修センター105号室及びサイエンスカフェ

きらめき通信 Vol.6

「結婚、出産、そしてその後」

結婚、出産、そしてその後の生活。仕事と家庭の両立。人生の再出発。これらは多くの医師にとって重要なテーマです。本誌では、米国で働く医師の経験や、結婚・出産後の生活の様子を詳しく紹介しています。

HPからの登録

九州大学病院
きらめきプロジェクト

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL KIRAMEKI PROJECT

プロジェクトに登録およびログイン

メールアドレス
PASSWORD

ログイン 会員登録

Web2.0アプリケーション

パスワードを忘れた方はここへ
>>> 会員登録の方はここへ

プロジェクトで登録およびログイン

【会員用】 Web2.0アプリケーション

【会員用】 掲示板

【会員用】 診察内容にアクセス

全ての医療人が働きやすい環境を目指します
九州大学病院きらめきプロジェクト



九州大学病院きらめきプロジェクト 第3回スタッフ研究発表会



樗木晶子

城戸瑞穂
医師

雨宮直子

伊原喜子

吉田綾子

迫真矢子

岩城理恵

柴田舞欧

光安彩

牛島里恵

磯谷智世

今野里美

後藤綾子

歯科医師

鮎川三恵

大和陽子

川野英子

中道智美

島永美千代

事務局

辻郷知世

福元千秋

松島巧

日時:平成25年3月12日(火)

11:00~16:00

3月13日(水) ※ポスター掲示のみ
3月14日(木)

会場:九州大学病院
外来診療棟2階ギャラリー
(1階レストラン前階段からも入場できます)

九州大学病院きらめきプロジェクトスタッフによる、1年間の活動報告をポスターでご紹介いたします。

一般の方も含めて三々五々、お気軽にご来場下さい。

交流スペースも設けております。

九州大学病院 きらめきプロジェクトキャリア支援センター
TEL/FAX: 092-642-5203
URL: <https://www.kyudai-kirameki.com/>
Mail: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp
主催: 九州大学病院
共催: NPO法人九州医療システム研究機構・総合メディカル株式会社

24年度のスタッフ研究会



自身の研究に限らず家庭生活の変化など
様々な発表がなされた。

きらめきプロジェクトに所属して・・・/ 明日への提言

♪ 出来たこと ♪

●仕事(臨床と研究)の両立、子育てを楽しむことが出来ました。
臨床面では、心療内科外来での再来診察を担当しました。

●研究面では、英文論文の執筆ができ、掲載が決まりました。
研究室のメンバーに助けをもらいながら、年2回の学会発表もできました。

●何よりも、仕事に対する自分の意識の変化が大きいです。

スタッフ発表会
のポスターから



きらめきプロジェクトに所属して・・・/ 明日への提言

きらめきに所属している医師は、
大学病院で働くことの有難さを実感していると思います。
養育しながら仕事も出来ることはとても恵まれていると思います。
雑務が少なく、診療に専念できる恩恵もあるかもしれません。
けれども、現状に甘んじているだけでは、自らの価値を下げることに
もなります。権利だけを主張するのではなく、実績を積み上げながら、
より多くの人にきらめきプロジェクトの存在を知ってもらい
よりよく発展させていくことが大切だと思います



- **連携が必要→関連する教育研究機関や研修指定病院**
- **国民（特に患者さん）にも医師の就労の有様を理解**
- **女性医師だけでなく医師全体のワークライフバランスが必要**
滅私奉公、医師不足
- **男性や上司の意識改革：男女の役割分担意識、母性神話**
- **プロフェッショナリズムをもつこと**
国税で教育を受けたことに対する責務を果たすこと
女性医師も家庭が大変だからという理由で簡単に仕事を辞めない
- **価値観の変換：インプット（労働時間）よりアウトカムの尊重**
- **多様な働き方を許容する：ダイバーシティマネジメント**
- **女性のsustainability の活用**



ご静聴ありがとうございました



福岡医科大学正門（明治42年）



全ての新病院完成（平成21年）